



年頭のご挨拶



ニトリ健康保険組合
理事長 塚田 和哉

新年明けまして おめでとうございます

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。私どもニトリ健康保険組合におきましても、ともに新しい年を迎えることができましたのは、ひとえに皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

昨年、厚生労働省が発表した2024年度の概算医療費は、過去最高の48.0兆円となりました。健保連が発表した2024年度の健康保険組合全体の決算見込では、昨今の賃金上昇の影響や保険料率の引き上げにより、保険料収入が対前年度+4.9%となったことから経常収支145億円の赤字となりました。しかし、高齢者等拠出金の伸びは対前年度+5.7%と保険料収入を上回っており、さらに2025年度は団塊の世代が全員75歳以上となることから、高齢者等拠出金への負担はさらに厳しくなるものと予測されています。

また、2026年度からは新たに「子ども・子育て支援金制度」が始まります。当制度の支援金は健康保険組合が代行して徴収いたしますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

一方、健康保険組合を取り巻く情勢も大きく変化しています。2025年12月1日で健康保険証は廃止になり、医療機関にかかるときは基本的にマイナ保険証を使用するしくみになりました。マイナ保険証においては、災害時や救急時の利便性も向上しています。ニトリ健康保険組合では今年度も引き続き、マイナ保険証への切り替えをお願いします。とともに、マイナ保険証の使用が難しいご事情がある方には、不便がないよう保険証代わりに使える資格確認書をマイヘルスウェブ内で電子交付し、これからも迅速な対応に努めて参ります。

最後になりましたが、この一年が皆様にとって実り多き年になるとともに、お健やかにお過ごしいただけますようお願い申し上げます。

